

# 平成30年度 「学校アンケート」 結果報告

文京区立林町小学校

校庭の桜の芽が膨らみ、目前に迫った春の準備を整えています。

保護者の皆様には、日頃より学校の教育活動にご理解ご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、年度末に際し、本年度の学校アンケートの結果をお届けいたします。アンケート結果を受け止め、来年度の教育活動に生かしてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

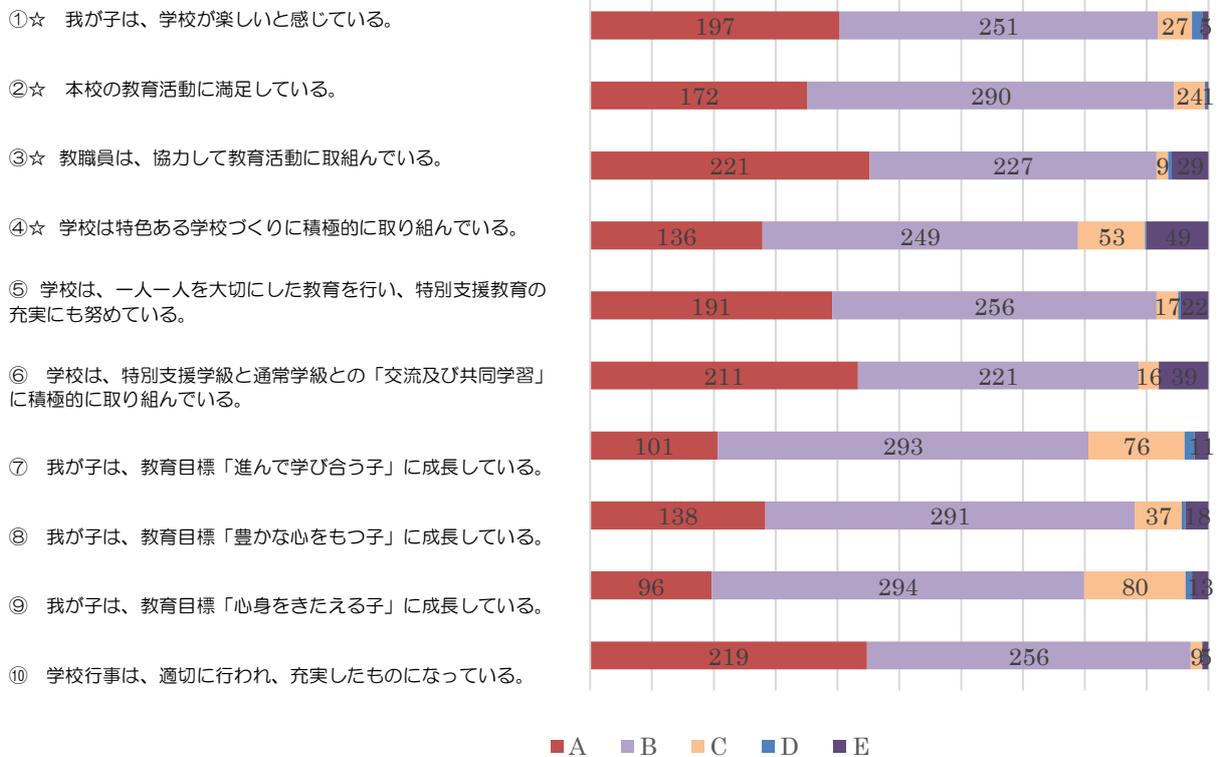
※実施期間 11/25～12/6 回答 488/565 (回答率 86%)

## 1 学校運営・教育活動全般について

- ①学校が楽しい ②教育活動に満足 ③教職員の協力 ④特色ある学校づくり ⑤特別支援教育  
⑥交流及び共同学習 ⑦進んで学び合う ⑧豊かな心をもつ ⑨心身を鍛える ⑩行事の充実

### 1 学校運営・教育活動全般について

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



評価の基準

A:よくできている。よくあてはまる。

B:どちらかといえばできている。おおむねあてはまる。

C:どちらかといえばできていない。あまりあてはまらない。

D:ほとんどできていない。まったくあてはまらない。

E:わからない。

日頃より学校の教育活動をよくご理解、ご協力いただいております。感謝申し上げます。「1 学校運営・教育活動全般」の項目では、例年同様の高い評価をいただきました。ご家庭が温かく学校の教育活動を見守ってくださっていることがうかがわれました。

①「学校が楽しい」②「教育活動に満足」③「教職員の協力」では、それぞれA B合わせて9割以上でした。③「教職員の協力」を認めていただく評価が昨年よりも高くなりましたので、今後も継続していきたいと思います。

④「特色ある学校」はA B合わせて8割を少し切る結果となりました。「たいさん木の広場」をはじめとする地域との連携や「吹奏楽」、ブラインドサッカーや落語、狂言、アイヌ文化を学ぶ等「外部講師による授業」、「特別支援級と通常級のなかよし会」等、本校の特色といえる取組について、情報の発信により努めてまいります。今後も学校便り、学年便り等で様子を伝えていく努力をしていきます。

⑤「特別支援教育」は昨年より若干数値が伸び、A B合わせて9割ほどでした。「学びの教室」での取組や担任以外の講師等による授業支援等が評価されていると考えました。

⑥「交流及び共同学習」はA Bで9割弱でした。特にこの項目は「わからない」の数値が他に比べて高く、「特色ある教育活動」同様、学校側からの情報発信に努めてまいります。

⑦「進んで学び合う子」は、A Bで8割超えでした。来年度もどの子どもが、そしてどのご家庭からも「進んで学ぶ子」への姿を感じていただけるよう、教室環境を整え、学習指導に意識して取り組んでまいります。

⑧「豊かな心をもつ子」はA B合わせて9割弱でした。学校では日々、言葉遣いや相手を思いやった言動について指導していますが、頭で理解していても言動に結びついていない場面を見ることがあります。継続して心を育て、自分も相手も大切にできる子となるよう育ててまいります。また子供を取り巻く様々な事象に、誠意をもって指導に当たるよう、教職員一同努めてまいります。

⑨「心身をきたえる子」は、昨年同様A B評価で8割となりました。今後も工夫した体育学習で身体面を鍛えていけるよう、学校でも指導に取り組んでまいります。また「心」の方も道徳や学級活動を中心に、強くしなやかに育つよう尽力して参ります。

⑩「学校行事」は例年通り、肯定評価が高く特に今年度はA Bが10割に近い結果でした。行事の意義をご理解いただき、来年度も充実した行事を適切に行ってまいります。

## 2 学習指導等について

- ①わかりやすい授業 ②意欲的に学習 ③少人数・専科指導 ④体力向上・健康 ⑤心の教育  
⑥有意義な行事 ⑦地域の特色・人材 ⑧防災教育 ⑨I C T機器の活用

### 2 学習指導等について

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

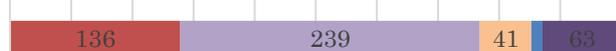
①☆ 学校では、基礎的基本的な学習内容の確実な定着を図る指導を行い（ICT機器の活用等）、授業は子どもにとってわかりやすい内容である。



② 我が子は、学習に意欲的に取り組んでいる。



③ 少人数学習による指導や教員の専門性を生かした指導を効果的に行っている。



④ 学校は、体育の時間を中心に、体力向上・健康づくりに取り組んでいる。



⑤ 学校は、道徳の時間を中心に、思いやりの心や規範意識の育成など「心の教育」に努めている。



⑥ 運動会、学習発表会などの行事は児童にとって有意義である。



⑦ 学校は、行事や総合的な学習の時間等において、地域の環境やゲストティチャーなど地域の特色・人材を生かした学習指導を積極的に行っている。



⑧ 学校は、「防災宿泊体験」を行うなど、防災教育に前向きに取り組んでいる。



■ A ■ B ■ C ■ D ■ E

①「わかりやすい授業」では、肯定の評価が9割弱でした。電子黒板の活用による視覚的で興味関心を引く授業、ユニバーサルデザインやアクティブラーニングの研究により、どの子どもが分かりやすい授業を目指して取り組んでまいりました。来年度も児童が主体的対話的に学ぶ環境を整え、さらに指導の充実を目指して参ります。②「意欲」では、8, 5割が肯定の意見でした。上記の分かりやすい授業を目指す中で、子供たちの意欲を引き出していきたいと考えます。また、教員間でより良い授業について学び合い、指導法を共有していきたいと思ひます。③「少人数や専科」につきましては、8割弱が肯定の反面、Cの「どちらかといえばよくない」が1割、Eの「わからない」が1割強ありました。来年度も学年と少人数担当教員で打ち合わせを密にし、児童の進度や理解にあった授業を工夫して参ります。「少人数だより」や授業参観などで、様子をお知らせしていきたいと思ひます。

④「体力向上・健康づくり」では8割を超える肯定評価をいただきました。児童数の割に校庭が狭いですが、安全に気を付け、教員が日常的な声かけで外遊びを励行したり、マラソン月間のマラソンカードなどで意欲を高めたりしてまいりました。今後も全校での取組を進めて参ります。

⑤「心の教育」は肯定評価が8割を超えました。教科となった道徳の時間を中心に、学習が机上で終わ

らないよう、実践として身に付くよう指導してまいりました。来年度もさらに心の教育を進めると共に、人権教育に取り組んできたその芽を、育てて参ります。

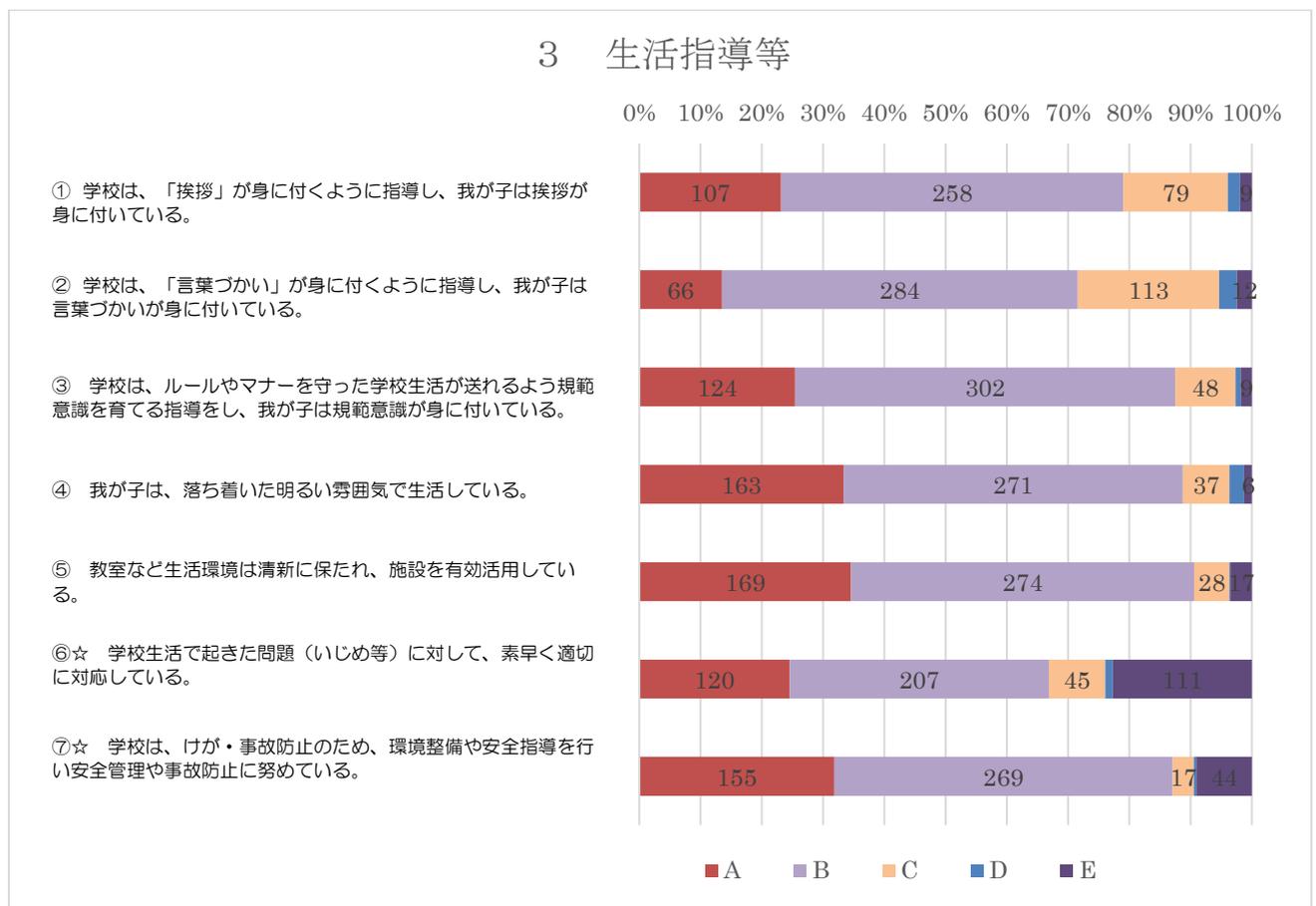
⑥「有意義な行事」は昨年同様肯定が高く、特に今年度は10割に近い結果でした。保護者の皆さまに認めていただいている取組を、今後もより一層充実したものとなるよう、努めて参ります。

⑦「ゲストティーチャー」も9割弱の肯定でした。しかし「E わからない」の回答も1割弱ありましたので、情報の発信を今一度考えてまいります。

⑧防災教育については、学校支援地域本部のご協力を受け、毎年4年生は、防災宿泊体験をして、成果を挙げています。来年度も実施します。

### 3 生活指導等について

- ①挨拶 ②言葉づかい ③規範意識 ④落ち着き ⑤生活環境 ⑥いじめ等の対応  
⑦安全管理



①の「あいさつ」について、A「しっかりできている」、B「どちらかというのでできている」を合わせて8割との評価をいただきました。これは29年度と比べると評価が下がっており、教職員の中でも課題としてあげている事柄です。特に「自分から進んで挨拶をする」ことが難しく、朝の挨拶運動などをき

っかけに様々な場面で指導していきたいと思います。個人差が大きいという現状もあり、「いつでも、どこでも、だれとでも」を目指し、今後も学年の初めの指導で全クラスで必ずあいさつについて学級指導をして参ります。挨拶の日常化について、ご家庭でも引き続きご協力をお願いいたします。

②の「言葉遣い」についてC「どちらかといえばできていない。あまりあてはまらない。」が2割5分との評価をいただきました。記述のアンケートからも、「あまり言葉遣いが良くない」とのお声があり、保護者の皆様も学校も、引き続き指導が必要だと強く感じている項目です。今年度の生活指導の重点目標を「相手の気持ちを考えた正しい言葉づかい」としてきました。来年度も継続して指導していきます。情緒の安定が言葉遣いや書字にも影響しますので、ご家庭でも重点目標を意識して、より良い言語環境を作っていただけるとありがたいです。

①「あいさつ」と②の「言葉づかい」では、C「どちらかといえばできていない」D「ほとんどできていない」の数値が他の項目に比べ、1割5分程度と高い数値でした。この結果をしっかりと受け止め、次年度の指導に生かしていきます。

③規範意識はA、B合わせて9割、④落ち着きについても9割と昨年度とほぼ同程度の評価をいただきました。学校では、廊下の歩行、規範意識、思いやりのある態度などの点で指導の必要性を感じており、引き続き、丁寧に指導を重ねてまいります。

⑤生活環境はA、B合わせて9割5分と高い評価をいただきました。「学校快適化工事」が完了し、より良い環境が整えられた結果と考えております。これからも清新に保たれた、学習しやすい環境を意識し、各教室の担当者が整えて参りたいと思います。

③④⑤の項目ではAB合わせて約9割と高い評価をいただきました。

⑥いじめ等の対応について、A、Bを合わせて6割5割との評価をいただきました。素早く適切に対応しているとの評価をいただけるよう、力を尽くしていきます。全校朝会での校長講話、心のアンケート(年3回)、ふれあい月間、道徳、いのちと心の授業などを引き続き行っていきます。いじめのない学校を目指して参ります。ご家庭はもちろん、スクールカウンセラーや諸機関と連携し、相談しやすい環境づくりにも努めていきたいと思っています。

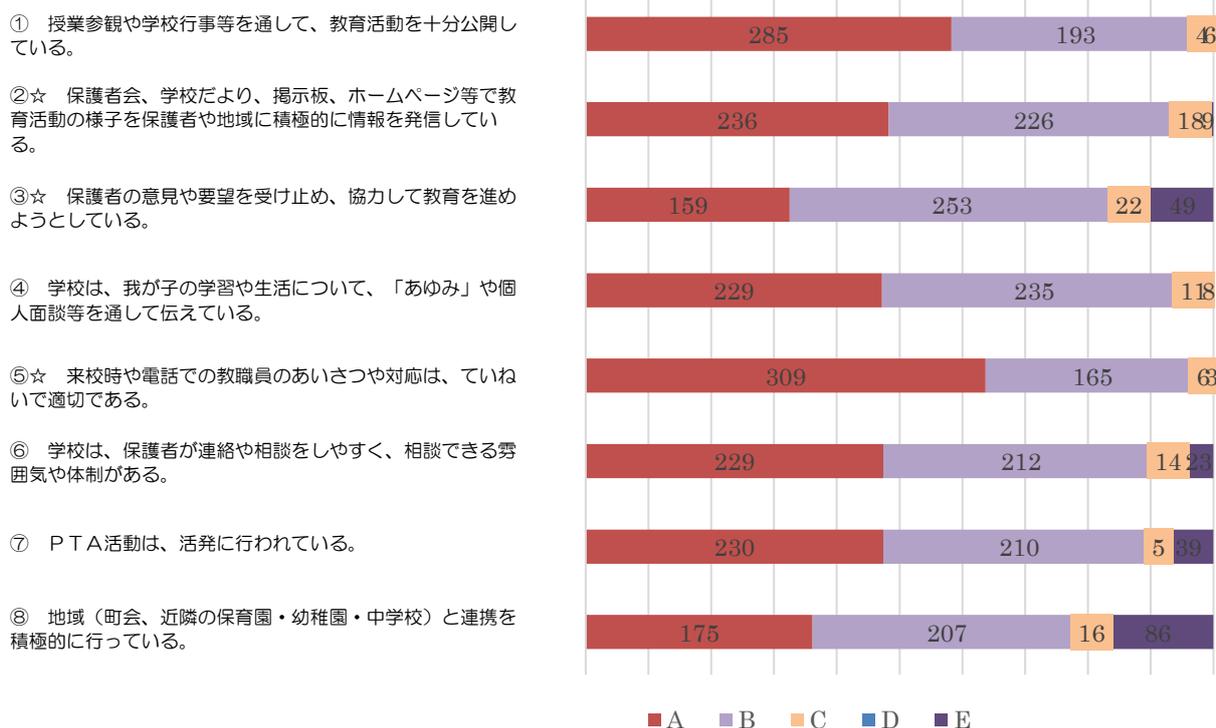
⑦安全管理についてA、Bを合わせて9割と29年度と同等の高い評価をいただきました。これからも、毎月安全点検を行い、安全管理に努めて参ります。特に登下校の安全については、今後も注意喚起をおこなって参ります。

#### 4 保護者、地域との連携・その他について

- ①教育活動の公開    ②情報発信    ③意見の受け止め    ④あゆみの工夫    ⑤教職員の対応  
⑥相談体制    ⑦PTA活動    ⑧地域との連携

#### 4 保護者、地域との連携・その他

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



①「教育活動の公開」については、A「よくあてはまる」B「あてはまる」を合わせ9、5割以上になり、運動会や学習発表会等の行事の実績を評価していただいています。今後も公開の内容を工夫して取り組んでまいります。

②「情報発信」についてもA・B合わせて9割の評価をいただきました。クラスや学年の様子は、保護者会や学年だより等で、できる限りお伝えしていますが、情報発信の方法や内容については、今後もより満足のあるものを目指して、考えていきます。

③「意見の受け止め」は、A・B合わせて約8、5割の評価をしていただきました。学校公開や行事の際のアンケートのご意見や感想については、真摯に受け止め、全教職員で共通理解しています。また、日ごろの児童の様子について、「家庭も協力していきたい」とのご意見も寄せられています。学校と家庭との連携は、必要不可欠のことですので、さらに連携を深めよりよい教育活動ができるよう努めてまいります。

④「あゆみの工夫」はA・B合わせて9、5割以上の評価をしていただいています。学校での様子

を分かりやすく伝えられるよう引き続き工夫して参ります。

⑤「教職員の来校時や電話対応」については、A・B合わせて今年度も9割以上の評価をいただきました。時間帯によっては、すぐに電話に出ることが難しい場合もありますが、伝言は確実に伝わるよう全教職員で共通理解しています。電話対応で教員の氏名を名乗るなど丁寧で適切な対応を心がけて、児童・保護者・地域の皆様との良好な関係を継続できるよう努めて参ります。

⑥「相談体制」については、9割近い評価をいただきました。ご相談がある時には、担任・学年主任をはじめ、校長・副校長・保健室・専科教員など全職員で対応しますので、いつでも誰にでもご連絡ください。ご相談いただいた事は、関係職員で共通理解して対応しています。また、2名のスクールカウンセラーも引き続き対応してまいりますので、いつでもお申し出ください。保護者との良好な関係を築き、いつでも悩みに寄り添えるよう努めてまいります。

⑦「PTA活動」は、A・B合わせて9割以上の方から評価をいただきました。日頃のご協力に感謝申し上げます。本部役員の方々も、運営の仕方や負担感を減らせるよう、よりよいPTA組織の検討をしていただいています。

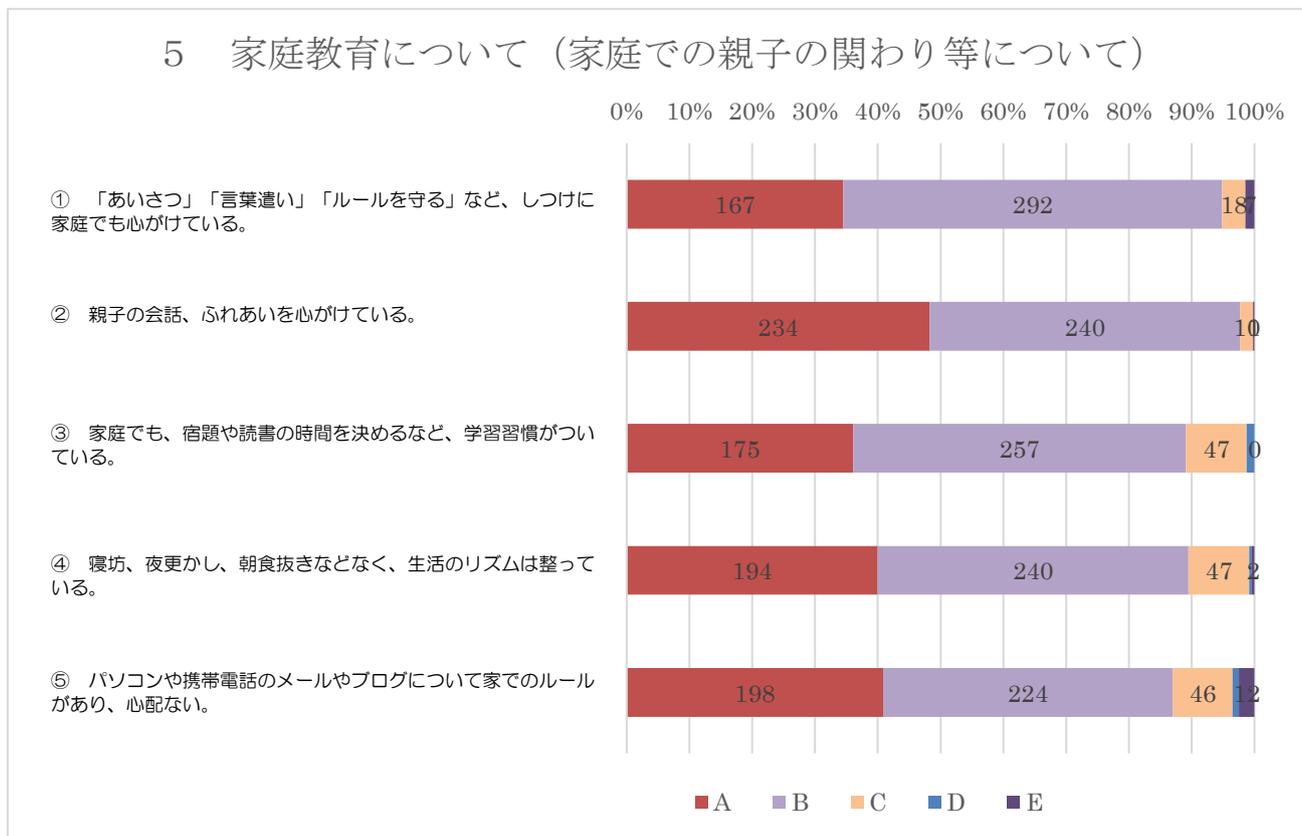
⑧「地域との連携」では、A・B合わせて8, 5割以上の評価をいただきました。本校は、区内の中でも、地域との連携が強く、地域の方々の協力や地域への貢献度が高い学校であり、地域本部の皆様や地域の皆さんに感謝申し上げます。

休日の「たいさん木の広場」や放課後の「たいさんぼくのひろば」では、楽しい企画を実施していただき、感謝しているのご意見をいただいています。来年度は体制が変わりますが、家庭とも連携していけるよう、努めていきます。

また、スクールガードや図書ボランティアの活動により、子供たちの安全や豊かな心の育成に力をいただき、感謝申し上げます。

## 5 家庭教育について（家庭での親子の関わり等について）

- ①しつけ    ②親子のふれあい    ③学習習慣    ④生活リズム    ⑤携帯等のルール



アンケートの結果をご覧ください。①～④まではAB合わせて高評価が出ています。アンケートの結果から、あいさつや言葉遣いなどのしつけや生活習慣・家庭学習・読書習慣・親子の会話など、家庭でも指導していただいていることがアンケート結果から伺え、家庭教育への関心の高さを感じます。しかし一方では、夜更かしや言葉遣いなどしつけの難しさを感じていらっしゃるご家庭もあります。今後も様々な機会を捉えて家庭と学校が連携して、より良い習慣が身に付くよう指導を重ねて参ります。学校での課題でもある、あいさつや言葉遣い・けじめある学校生活・友達への思いやりなどの生活態度面でも、引き続きご家庭と連携して指導を重ねていきたいと思ひます。

⑤の携帯等のルールについては、パソコン、スマホなどの使用時間の制限など、低学年からも心配の声がありました。また、YouTube等の動画サイトの視聴が低学年からあり、心身への悪影響を心配されているご意見もありました。情報モラル教育として、東京都の施策で「SNS（ソーシャル ネットワーク サービス）東京ルール」が策定され（平成27年11月）それを基にご家庭でルールを決め、実施していただいていることと思ひます。今年度は4月の学校公開の際、4年生以上はインターネットのセーフティー教室を開催し、3年生以下は東京eルールについて行いました。来年度も家庭と連携してより充実した指導ができるよう努めていきます。